

# 共同乾燥調製施設の利用実態と今後の方向

## 1. 試験のねらい

カントリーエレベーターやライスセンターなどの共同乾燥施設を軸とした稲作経営を確立するための方策を策定する。

## 2. 試験方法

共同乾燥調製施設（以下「共乾施設」）の利用に関するアンケートを上三川町、矢板市、宇都宮市城山地区を対象に平成9年12月に行った。配布部数は宇都宮市城山地区493戸、矢板市100戸、上三川町210戸、うち回答者はそれぞれ355戸(72%)、37戸(37%)、120戸(64%)である。

## 3. 試験結果および考察

- (1) 共乾施設を利用した農家割合は宇都宮市城山地区52%、矢板市80%、上三川町63%で、そのうち全量利用はそれぞれ43%、8%、45%となっている。つまり、上三川町、宇都宮市がほぼ半々であるのに対し矢板市では極めて低い。

全量利用の理由は、「共乾施設のほうが楽」が最も多く、次いで「自分でやるより有利」の順になっている(表-1)。「共乾施設に出すと楽」が1位になったのは利用料金を支払ってでも時間的なゆとりを得たいとする利用者の意識が現れている。

一部利用の理由は「飯米の確保」(63%)、「共乾施設のほうが楽」(49%)「機械がまだ使える」(38%)の順に回答が多い。また、「コンバインのリース事業があるから」と答えた割合が上三川町、矢板市に14%程度あり、農協のコンバインリース制度が施設利用の意識を強める効果があると見られる。

- (2) 経営の変化については「兼業の安定化」「自由時間の確保」「複合部門への専念」の順になっている(表-2)。上三川町では「経費節減と過剰投資抑制」「複合部門への専念」など経営改善につながっており、施設野菜地帯(上三川町)と水稻単作地帯(矢板市)、都市近郊地帯(宇都宮市城山)との地域差が、回答項目の順位差に結びついている。また上三川町の場合、「他作目の導入」の回答も多く経営の複合化の契機にもなっている。
- (3) 経営上の困難点については、機械の過剰投資や圃場の分散、転作作物の選択が各市町とも共通の課題になっている(図-1)。労働力不足、長時間労働、妻の労働過重については上三川町で特に目立っているが、これは労働集約型作物の導入が多いためである。
- (4) 合理的な作付方法、機械の共同利用の一つの手法である集落営農に対する設問には、大方が合理的な土地利用や転作作物の作付け、更には兼業農家の労働力は必要とする意見が多い。このことから農地や水利用を中心に集落との協調を重視しているといえる(図-2)。

## 4. 成果の要約

今回のアンケートによると共乾施設の利用によって過剰投資の抑制、複合部門の専念、労働時間短縮など部分的に経営改善につながっている。しかし、経営全体でみると機械の過剰投資や圃場の分散、転作作物の選択等の問題点があげられている。今後の方向として、農家全戸が生産計画や土地利用計画に参画する集落営農が望ましい。一層の経営改善を果たすには共乾施設が核として重要な役割を持っている。共乾施設の効率的利用や稼働率向上にも搬入方法や運営方法に集落の役割や位置づけを明確にすることが大切である。

(担当者 企画経営部 松井 丈)

表-1 全量利用の理由（重複回答）

項 目	上三川町		宇都宮市	
	(戸)	(%)	(戸)	(%)
共乾施設に出す方が、自分でやるより有利	14	41.2	28	38.4
共乾施設に出すと楽	17	50	43	58.9
兼業があつて、手がまわらないから	14	41.2	26	35.6
他に集約部門があつて手がまわらない	6	17.6	7	9.6
コンバイン・乾燥機が使えなくなった	12	35.3	19	26
コンバイン・乾燥機の処理能力をこえた	1	2.9	2	2.7
出荷時の袋詰め及び運搬が面倒	7	20.6	18	24.7
農協が共乾施設を運営しており安心だから	9	26.5	27	37
収穫を請け負っているひとの都合	3	8.8	2	2.7
コンバインのリース制度があるから	2	5.9	2	2.7

表-2 共乾施設利用による経営の変化（重複回答）

項 目	宇都宮市		矢板市		上三川町	
	(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)
他の作目を導入した	16	9.5	2	7.4	14	18.7
水稻の規模を拡大した	4	2.4	2	7.4	1	1.3
自由な時間ができた	32	19	7	25.9	15	20
安心して兼業に出られるようになった	58	34.5	9	33.3	21	28
稲刈り等の作業受託面積が増えた	5	3	4	14.8	3	4
経費節減と過剰投資の抑制になった	27	16.1	4	14.8	28	37.3
複合部門に専念出来るようになった	24	14.3	4	14.8	27	36
農協事業との連携が強まった	9	5.4	1	3.7	7	9.3

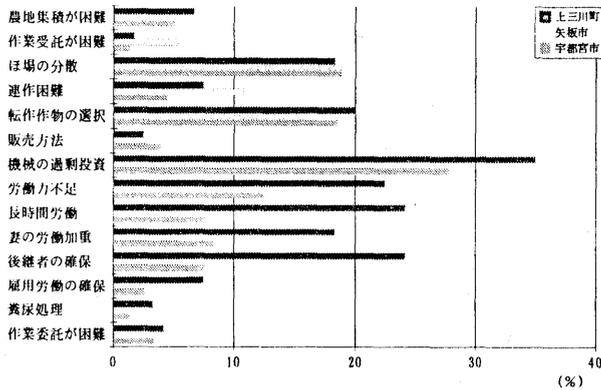


図-1 経営上の困難点

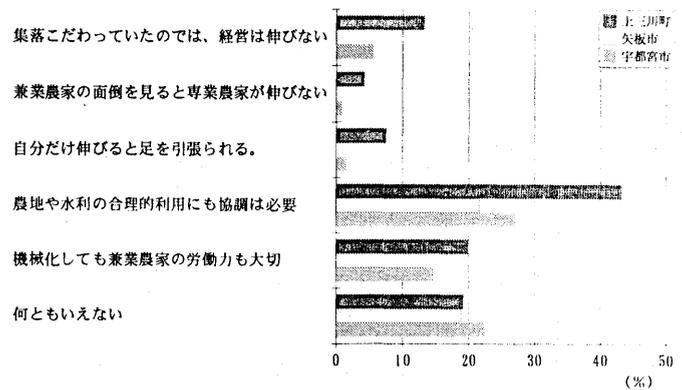


図-2 集落営農に対する考え